

## 第1回豪雪対策本部会議 議事録

日時：令和7年1月4日（土）10：00～10：45

場所：北棟2階 災害対策本部室

### ○統括調整部副部長（危機管理局次長。以下「司会」）

ただいまから、令和7年青森県豪雪対策本部会議を開催します。はじめに青森県豪雪対策本部の設置等について、統括調整部長から説明します。

### ○統括調整部長（危機管理局長）

現時点で指定観測点5箇所のうち青森、弘前は既に警戒積雪深を上回っており、その他の観測点も平年の積雪深を上回っています。この大雪により、道路状況の悪化に伴う交通障害、航空、鉄道の運休が生じています。また、雪による倒木を原因とした停電が発生するなど、市民生活に多大な影響が発生しています。

県内の一部の地域では、災害レベルとなっており、今後も降雪が続き、様々な雪害が発生する恐れがあることから、県の対応に万全を期すため、豪雪対策本部を設置します。

豪雪対策本部は全庁体制とし、市町村や関係機関と緊密な連携と協力のもと、対策を検討し、実施に移すこととしますので、よろしくお願ひします。

### ○司会

続きまして気象の見通しを、青森地方気象台から説明していただきます。

### ○青森地方気象台（三上次長）

青森地方気象台からは、雪の状況と天気の見通しについて説明します。

資料1枚目です。青森県では12月から1月にかけて、冬型の気圧配置の強まりや上空の強い寒気、気圧の谷の影響により雪の降る日が多くなりました。これまでの降雪量と最深積雪の分布をこちらの図に示しており、ともに平年を上回る大雪という状況となっております。

最深積雪の記録ですが、12月としましては弘前、酸ヶ湯、碓ヶ関の3地点で12月の積雪として第1位を観測しております。そのほかは野辺地が第2位、五所川原が第3位として記録を更新しております。4日6時から5日6時までに予想される24時間降雪量は、津軽の山沿い、三八上北の山沿いで30センチメートル、津軽の平地、三八上北の平地で20センチメートル、下北では山沿い、平地ともに15センチメートルとなっております。

資料2枚目です。向こう1週間の天気です。前半につきましては、低気圧や気圧の谷の影響により雨や雪の降るところがあります。後半はその低気圧通過後に冬型の気圧配置や寒気の影響により、再び雪の降りやすい日が続く見込みとなっております。気象台からは以上です。

## ○司会

続きまして各部局の所管事項に係る被害情報について報告願います。

## ○総合対策部長

通信の関係をご説明いたします。NTT ドコモですが、平川市葛川にて通信障害が発生中で、本日中の復旧に向け準備中と聞いております。KDDI ですが、青森市荒川、浪岡、平川市小国山下、深浦町にて通信障害が発生し、現在も通信障害があると聞いております。ソフトバンク、楽天モバイルについては、現状通信障害なしとのことです。以上です。

## ○交通・地域社会部長

まず奥羽本線ですが、ここにあるとおり一部運休で、大館～弘前間は今のところ再開の見通しがたっておりません。弘前～津軽新城間上りは再開したとの情報がありますが、下りはまだ除雪中ということです。それから変更点としましては大湊線が午後の再開の方向で今調整していると聞いております。青い森鉄道ですが青森～浅虫温泉間については本数を減らしての運行、浅虫温泉～野辺地間は明日の再開を目指して現在作業中です。野辺地～三沢間は本日中の再開を目指して作業中、三沢～八戸間は本数を減らしての運行となっています。弘南鉄道弘南線は除雪作業中で、昼前には運転再開できるのではないかとのことです。大鰐線については平常通り運行を再開したと聞いております。以上です。

## ○環境エネルギー部次長

停電の状況につきましてご報告いたします。今日9時現在までに東北電力ネットワーク株式会社が公表している状況によりますと、28日からは県内で延べ7100戸ほどの停電がありましたが、現在は約50戸が残っており、これについても随時復旧中と聞いているところであります。以上です。

## ○健康医療福祉部長

人的被害におきましては傷病程度不明の方1名が1月3日の雪下ろし中に屋根から転落し、医療機関へ救急搬送されたということです。建物の被害につきましては、住家は被害情報なしで、非住家は半壊が1件と報告されております。また医療機関における被害は現時点では報告されておられません。

透析患者さん等についてはバス等での移動1時間程度であるものの、透析にはアプローチできているということを確認しております。

医療機関の災害時に入力できるシステム、EMISに関しましては警戒モードに変更しております。特に停電時におきましては非常用電源が必要になりますので確認を今のうちにしておくよう連絡しております。

また患者様におかれましては医療機関を受診する際には移動等が大変な状況だと思っておりますので、運転などに注意していただきたいと思いますと考えています。健康医療福祉部からは以上です。

## ○観光交流推進部長

空路の関係です。1月2日まで休便がいくつかありましたが、1月3日から一部遅れはあ

るものの航行中となっています。以上です。

#### ○農林水産部長

現在の被害状況としましては、ビニールハウスの破損、りんごの枝折れが報告されておりますが、まだほ場、園地に行けない場合が多く、被害状況の確認にはかなりの時間を要するものと考えます。過去の例からしますと、ハウスの倒壊、それから春先のりんごの枝折れが懸念されるところです。現時点の対応としましては、ハウスについてはまずは作業者の安全確保が最優先となりますので降雪が収まってから、ハウス内の暖房をして融雪を促すこと、ハウス周辺の除排雪を行うこと、それからりんごの枝折れに関しては春先、雪が溶ける時に枝が折れますので、とりあえず今樹上の雪を下ろし、そして雪に埋もれたりりんごの枝先を引き上げるなどの対応が考えられます。臨時農業生産情報で注意を呼びかけていきたいと思っております。以上です。

#### ○県土整備部長

これまで雪による倒木によって全面通行止めがありましたが、現在は規制解除されております。また空港周辺で一部停電がありましたが、これも復旧しております。青森空港の駐車場につきましては、雪のため駐車台数が限られるというか、夏場よりちょっと減っておりますけれども、随時除排雪して確保に努めております。

今後の道路対策本部についてですが、県土整備部内に道路雪害対策本部を設置します。そして青森県建設業協会と締結している大規模災害時における応急対策業務に関する協定を活用しまして、資機材（重機とオペレーター）の確保に取り組むこととしております。それから現在、除雪業者についてはJVで対応しておりますが、その資機材人員等を除排雪に振り向けて県管理道路の除排雪の徹底を図ることとします。そしてそれとともに事前事後のパトロールを徹底いたします。さらに現在発注済みの工事で、業者さんが人員と重機等の手配が手薄になることも考えられますので、その一時中止等も検討しながら、資機材、人材の増強に全力で当たりたいと考えております。

それから市道等の除排雪の支援につきましては、支援メニューを整理しながら、先ほどの状況のための確保のリストと照らし合わせながら、今後メニューを検討していきたいと考えております。それと除排雪予定等のマップは今年度から継続的に広報してきておりますが、今後もSNSやホームページ、それからラジオ、テレビを活用したコーナー等を設けることを検討しながら住民の方々に周知していきたいと考えております。

国に対しては、幹線道路ですので、排雪計画の促進を要請するとともに連携を密にしていきたいと考えております。あとは県の道路課、各地域整備部、市町村窓口とのホットラインを開設して、なるべく課題等の情報を共有一元化していきたいと考えております。以上です。

#### ○統括調整部長（危機管理局長）

雪に起因する119番受理状況は青森市43件を中心に合計82件の受理状況となっています。主な要因は雪道での凍結による怪我、屋根からの落下、倒木等となっています。以上です。

○警察本部長

警察の関係でご説明します。年末年始の間、大雪に伴う交通死亡事故や部隊活動を伴う事案は発生しておりませんが、青森、野辺地、鱒ヶ沢警察署管内及び高速道路において、雪道における交通事故や倒木が発生し、交通事故処理及び交通規制等を実施いたしております。なお事故原因が雪に起因するものか否かにつきましては、さらに調査を要するという事になります。また12月28日から1月3日までの間における大雪との関連が考えられる110番通報につきましては、倒木が10件、スタック及び立ち往生が360件です。なお同期間中、人身事故及び物件事故合わせまして729件発生しておりますが、大雪との関連など詳しい事故原因は調査中となります。なお大雪警報が発表された1月2日深夜から3日午前10時までの間では、雪に関わる事案を32件受理しており、そのほとんどが交通事故や車両の立ち往生、倒木等となっております。

警察部では年末年始における災害警備体制等の確保について各警察に指示を出して対応しているところですが、引き続き被害情報の収集に努めてまいります。以上です。

○司会

その他配布資料に掲載がない部局におかれまして補足等のご説明はありますでしょうか。ただいまの報告を受けまして本部長、副本部長から何かございますでしょうか。

○本部長（知事）

1点あります。气象台の方に来ていただいておりますので、今後の冬の降雪の見通しについてお伺いしたいと思います。これからいよいよ本格的になると思います。このことについて分かる範囲でお願いします。

○青森地方气象台（三上次長）

今後の見通しですが、3か月予報によりますと、期間の前半は寒気の影響を受けやすくその後は、冬型の気圧配置が弱まり、寒気の影響を受けにくくなるので、気温については、平年並みまたは高いという予想になっております。降雪につきましては、向こう3か月は、日本海側については平年並か多い見込みとなっております。3か月予報から申し上げますと以上となっております。

○司会

続きまして本部長である知事から指示事項があります。お願いいたします。

○本部長（知事）

年末年始だけではなく、12月からの断続的な降雪、しかも12月の雪なのでかなり重い雪だったと思います。そして記録的な大雪となり、市民生活、県民生活、市町村の住民生活に大きな影響が出ていると考えています。このため本日、豪雪対策本部及び全ての地方支部を設置して、緊急災害対応としての全県的な除排雪体制の整備を行いました。

私からの指示事項は何点かございます。

まず1点目、当然のことですが県土整備部中心に国道、県道の除排雪を徹底して行うとともに、特に事後のパトロールを強化していただき、除雪をただやったということではなく、除排雪がきちんとできているかについて確認するという作業を、当たり前ですが、徹底していただきたいということです。また国道、県道に関しては、私たちの責任ですので、丁寧な方法を実施するというのと、先ほど県土整備部から報告があったとおり受付窓口についてしっかりと紹介することです。

もう1つ新しい取組になりますが、幹線市道等の除排雪については県及び各市町村が連携している業者からの応援を実施するようにしてください。容量オーバーしていると思いますので、各市町村、今雪の降っていない市町村から応援できる体制をしっかりと整えることをただちに進めるということをお願いします。

2点目ですが、市町村に対しては停電が発生している地域、特に冬ですので積極的に避難所を開設するなど、適切な対応を呼びかけること、これは危機管理部をお願いします。

また農林水産部においては、まだ状況確認できてないということですが、令和4年の1月から3月の豪雪災害では3億3000万円の被害が出ているということもありますので、ハウスなどの農業施設等について、被害状況を把握するように必要な対策を行っていただきたいと思います。

先ほど冒頭でも申し上げましたが、降雪も積雪もこれから本格化します。除排雪作業や雪下ろし中の事故防止については、広報活動や関係機関との連携により、周知徹底・啓発に努めていただくようお願いします。

また県及び市町村の除排雪予算の確保については国へ緊急的に要望するよう調整してください。

また今回のこの会議の資料は確実にアップしてください。また次回の本部会議の際には資料が確認できるように段取りをしてください。

最後ですが、今回の豪雪は、私は災害という認識です。全部、全地方支部に対して、県民生活に生じる影響、被害の状況把握、これに努めて県政の最優先事項として適切に対応していただきたいと思います。またその際は、国、市町村と緊密な連携協力のもとに、万全な対応に努めていただくようお願いします。私からは以上です。

#### ○司会

最後になりますが、県民の皆様へ本部長からメッセージがございます。よろしく申し上げます。

#### ○本部長（知事）

繰り返しになる部分もありますが、年末年始をはじめ豪雪による交通障害などへの対応については、県民の皆様お1人お1人のこれまでのご尽力に対して、心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

また現状でも停電が多数発生しており、暖房が使えないなど大変な思いをされている県民の方々がいらっしゃると思います。心からお見舞いを申し上げます。

県内の一部地域においては、非常事態で、都市機能が麻痺するなど、生活災害というようなことになっております。特に12月と1月上旬では先ほど報告があったとおり、地域によ

つては観測史上最大級の積雪深を記録する、最大規模の豪雪災害となっていると私は認識しています。今のこの状況の中では、各市町村の機械力、それから人員の限界を超えたレベルになっていると考えています。

私自身も青森市に在住しておりますが、自宅周辺の生活道路の除排雪というものはほとんどありませんでした。私自身も毎日何度も車道まで雪かきをしている状況です。降り積もる雪に対しては、うんざりしていると思いますが、市民感情、県民感情、住民感情を考えると、やり場のない怒りをお抱えになっていると私自身も感じています。また私自身も生活をしておりますので、車で市内各地に買い物や用事を済ませに行くこともあります。そうしますと、普段二車線の通りが一車線になり、高い雪の壁に囲まれ、すれ違いもままならず、またタイヤの後でボコボコになった道路にハンドルを取られたり、滑ったり、立ち往生したりする車に何度も遭遇しています。歩道が歩けないので、車道を通行している方もいて、そういう意味では本当に恐怖を感じながら私自身も生活、通行しているという状況です。路面の状況も、特に生活道路は車が壊れるほどに、でこぼこな場所も多く、運転そのもの、移動そのものに、本当にストレスがかかる状態だと考えています。通常5分で行けるような場所が、もう今や30分かかってもいけないということが市内ではあります。これは青森市内だけではないと考えています。

不安、あるいは怒り、あるいはその恐怖、そういった負の感情が今覆っているということは、私も一県民そして住民として十分に理解をしているつもりです。その一方でこの状況を乗り越えるためには、この豪雪が災害であるという認識をまず私たちが持つ必要があります。史上まれに見る豪雪であるという理解と、それから災害時であるからこそまずご自身の身を守っていただき、共助の精神でお互いを支えるということにもご理解をいただきたいと考えています。

県としては豪雪災害であるという認識のもと、県管理の国道と県道についてはパトロールを強化して除排雪をこまめに行い、既に24時間体制で対応しているところであります。

さらに県としては、取組を進め、まず第1に国道、県道は昼間の除排雪も含めてこれまで以上に徹底して行っていききたいと、国道、県道に出た時には少しほっとしてもらえるように対応していききたいと考えています。私自身も青森市内を見て回っていますが、青森市外の現場についても順次確認をしていききたいと考えています。また市町村の生活道路は、除排雪ともに、特に排雪だと考えていますが、追いついておらず危機的な状況だと認識しています。県としては、豪雪への対応の検討を進めてきましたが、今後は県としての予算を確保して、県主導のもとに機械と人員余力のある市町村が連携する業者を融通して、この災害に県一体となって取り組むようにしていきます。

屋根の雪による家屋の崩壊、道路通行障害、高齢者世帯等の家屋での孤立、停電など命にかかわる危機がすでに起こり始めています。市町村には積極的に避難所の開設等を促し、災害対応として対処してもらえるように要請をしていききたいと考えています。

まだ1月の初めということで、これからが雪の本格的なシーズンになります。私たちとしては、市町村と連携し県政の最優先事項として、できる限りの対応をしていききたいと考えています。ただ災害ですから、どうしても追いつかない部分もありますので、そのことについてはご理解をお願いしたいと思います。

まずはご自身の身を守っていただき、お互いを尊重しながら、毎晩、そして年末年始正

月、毎日除雪排雪を行っている業者の方々がいらっしゃるということにも思いをはせていただいて、結束して、県民一体となってこの災害を乗り越えていきたいと考えておりますので、どうぞ皆さんご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

○司会

これを持ちまして本日の会議を閉会いたします。